

おおいた徴収カレッジ（マネジメント講座）

【合同研修】

目的	徴収業務で結果を出すためのマネジメントを学ぶとともに、心理的負担も大きい徴収現場において求められる管理職員としてのサポートのあり方等を習得する。			
内容	・先進団体職員による管理職員の心構え・マネジメントについての講義			
実施年月日	令和3年 7月 6日（火）～ 7日（水）	定員	30名（市町村職員20名 県職員10名）	
対象者	（市町村） 係長以上の職員（地方税法の滞納処分の例により強制徴収する徴収業務で結果を出すためのマネジメントが求められる職員） （県） 係長以上の職員（地方税法の滞納処分の例により強制徴収する徴収業務で結果を出すためのマネジメントが求められる職員）			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和3年 5月31日（月）	《第6回》	経費内訳	内訳表2
指定ホテル	コモドホテルOITA	その他留意事項	-	
研修講師	○徴収現場の体験を通じて 【元大分市 納税課長 丹生 博己 氏】 ○管理職員の心構え・マネジメントについて 【元横浜市 財政局 主税部 部長 鷲巣 研二 氏】			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> 改めて滞納整理は「租税法主義」であることを認識し、現行の実務を見直すことの大切さを学びました。 講師が「知識を学ぶというよりは、事例を通じて疑似体験してほしい」と言われたのを聞いて、そういう研修の受け方があるんだと、目からウロコの状態でした。事例を数多く出していただき、疑似体験することができたと思います。 以前から聞いていた横浜市の滞納整理について再確認でき、再度持ち帰り、当市の現状との違いを検証したい。 根拠となる資料を沢山準備していただき、ありがとうございました。資料のおかげで情報共有できそうです。 			
備考				

時間割

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1日目	30	50	徴収現場の体験を通じて （実例を交えたマネジメントに係る講義）	昼食		管理職員の心構え・マネジメントについて （講義）			30
2日目		30	管理職員の心構え・マネジメントについて （講義）	昼食	管理職員の心構え・マネジメントについて （講義）	管理職員の心構え・マネジメントについて （県内の困難事業をグループで討議）		アンケイト・閉講	20 30
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00 18:30

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。